

IM500080

未来のものづくりに向けたテクノロジー戦略

ジョン・ウォンジン

オートデスク株式会社

製造業インダストリーマネージャー

学習の目的

- DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するためのヒントを得ます。
- 設計や製造プロセスをデジタル化する方法やメリットについて勉強します。
- テクノロジーの適切な活用によりプロセスを改善するためのコツを学びます。
- 業務改善に活用できる適切なテクノロジーについての知識を得ます。

説明

「ものづくり大国」と言われ、日本を支えてきた製造業が危機に直面しています。近年、多くの企業において、テクノロジーの活用が経営戦略の最優先事項の1つになっている中、まだ多くの日本の製造業は経済成長期に導入した設備とプロセスを使って、属人的に設計・生産しています。また、最新のテクノロジーを導入したくても、世の中にどんなテクノロジーが存在しているか、それらをどう使うべきか、そしてうまく活用したらどんなメリットがあるかを理解できていないため、製造業 DX やプロセスのデジタル化への一歩を踏み出すことができない製造業の企業も多くあります。このセッションでは、このようにデジタル化に遅れている製造業の企業が、デジタル時代を勝ち抜くために必要なテクノロジー戦略を、オートデスクの製造業向けソリューションを中心として、ご紹介します。

スピーカーについて

韓国で機械工学を専攻した後、アメリカで自動車デザインを勉強。自動車デザインを専門にする日本のデザイン事務所で自動車 OEM 向けのデザインとデジタル業務を担当した後、自動車デザイン用 CAD ソフトウェアベンダーへ転職。オートデスクへ買収された後も、自動車デザイン業界とソリューションを主に担当してきたが、最近は日本の製造業における課題を解決するために、デジタル改革の取り組みを幅広く提案している。